

トウダイグサ科

タカトウダイ

Euphorbia lasiocaula Boiss. var. *lasiocaula*

兵庫県ランク… B

環境省ランク… －

県内分布

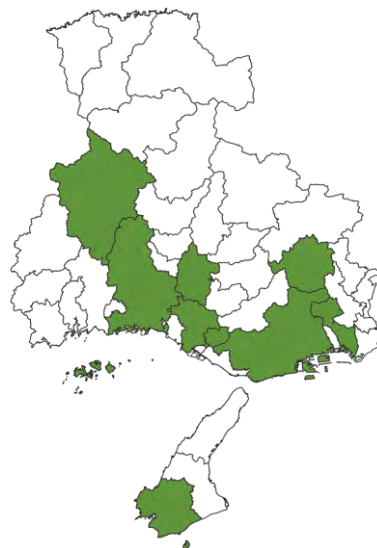
神戸市、西宮市、三田市、加古川市、稲美町、加西市、姫路市、宍粟市、南あわじ市

国内分布

本州、四国、九州

選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



特記事項

生育地である草原が消失しており、現存を確認できる生育地は限られている。2020年版でCランクからBランクに変更した。



写真提供：松岡成久

保護上の留意点

生育地である草原の保全が重要である。

種の概要

丘陵地、山地の草原に生え、草丈50-80cmの多年草。若いものは1本立ちであるが、のちに数本叢生する。葉は披針形から倒楕円状披針形で、表裏には短い軟毛が生えるが、しばしば無毛となる。茎頂に5枚(3-7枚程度の変化がある)の葉を散状に輪生して、5本(3-7本)の散形枝を開出する。また、茎頂に近い茎葉から同様の花枝を腋生する。花序の下苞葉は菱状卵形。